



議会だより

なよろ

令和2年
第2回定例会

第57号

令和2年8月1日
発行



目次

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・意見書 3
- 一般質問に15人・議会運営委員会活動報告・議会日誌 4～11
- 政務活動費概要報告・市政クラブ政務活動報告 12
- 市民ネット政務活動報告・日本共産党政務活動報告 13
- 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会活動報告 14
- 各常任委員会活動報告・議員協議会 15～17
- きぼう・編集後記 18

題字 名寄市立智恵文小学校 遠藤 百々花(えんどう ももか)さん

令和2年 第2回定例会 5月28日～6月19日

名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正、新型コロナウイルス対策・ピヤシリススキー場指定管理料の増額などを含む一般会計補正予算などを原案可決

令和2年第2回定例会は、5月28日～6月19日までの23日間で開会。議案審議では、第1回定例会で付託議案とした「名寄市債権管理条例の制定」を委員長報告のとおり原案可決するとともに、「ピヤシリススキー場の指定管理料にかかわる「令和2年度名寄市一般会計補正予算（第4号）」を特別委員会に付託し、会期内で審査を行い原案のとおり可決するなど、条例案13件、除雪専用車の購入を含む財産の取得2件、補正予算案3件、専決処分した事件など5件を原案のとおり可決・承認しました。一般質問では17日から19日までの3日間で、15名の議員が市政全般について質問を行いました。最終日には、名寄振興公社のあり方に関する特別委員会報告が行われ、委員長から振興公社の経営形態、施設整備、振興公社のあり方についてまとめた結果が報告されました。

条例の改正

☆名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

新型コロナウイルスの感染拡大が市民生活に多大な負担や影響を及ぼしている状況を踏まえ、議員自らも目に見える形で姿勢を示すべきであるとの認識により、本年6月支給の期末手当を10%削減するため、条例の一部を改正しました。

また減額分を原資とし、感染のリスクが高い現場で日々業務に当たられている医療、介護などの従事者に対して、より手厚い支援の措置を講じるよう、要望しました。

☆名寄市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について

小学生の助成の対象範囲は、入院および指定訪問看護に係る助成に限るとされていましたが、対象範囲の制限を無くし、本年10月から小学生の通院医療費を無料にするため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆防災会議・訓練等事業費

避難所開設時における新型コロナウイルスウイルスなどの感染症対策として、間仕切りなどの備品を購入するため213万7千円を追加しました。

☆ピヤシリススキー場管理運営事業費

名寄振興公社の令和元年度決算が確定し、ピヤシリススキー場の指定管理料の不足額が把握できたため、その不足額相当分として2500万円を追加しました。

☆市外学生保護者等応援プレミアム付商品券交付事業費

新型コロナウイルス感染症の影響により、本市出身で、市外の大学などに進学した学生が経済的な理由で学業を断念することがないよう、学生生活を支えている保護者などに対して、5万円分のプレミアム付商品券を交付するため2025万円を追加しました。

☆子育て応援給付金給付事業費

特別定額給付金給付事業で対象外である、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児に対して、一人10万円の給付金を給付するため1850万円を追加しました。

☆ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている、ひとり親の低所得世帯に対して、給付金を給付するため2623万1千円を追加しました。

☆商業指導育成対策事業費

新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた市内経済の回復を図るため、市内店舗で利用できるプレミアム付商品券事業および商店街における

販売促進事業への補助として、6465万円を追加しました。

☆がんばる中小企業応援給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症により、経営に大きな影響を受けた市内事業者に対して、業種ごとの影響を考慮した給付金を給付するため1億31万5千円を追加しました。

☆小学校教育振興事業費及び中学校教育振興事業費

児童生徒に一人一台の端末を整備する「GIGAスクール構想」の実現に向けた、端末の整備スケジュールを加速すること、子どもたちの学びを保証できるように、後年度に予定していた学年の端末を前倒しで整備するため、合計8407万5千円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

- 長谷川 良 雄氏（再任）
- 名寄市西2条南6丁目
- 上 口 里 美氏（再任）
- 名寄市風連町字中央

臨時会を開きました

令和2年第1回臨時会が5月8日に開催され、名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正など、11件の議案について審議し、原案のとおり可決・承認しました。

令和 2 年 第 1 回 臨時 会議 決 結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市国民健康保険条例及び名寄市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	名寄市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例等の一部改正について）	承 認
議案第 4 号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承 認
議案第 5 号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例の一部改正について）	承 認
議案第 6 号	専決処分した事件の承認について（名寄市介護保険条例の一部改正について）	承 認
議案第 7 号	令和 2 年度名寄市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 8 号	令和 2 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 9 号	令和 2 年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 10 号	令和 2 年度名寄市立大学特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 11 号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決

令和 2 年 第 2 回 定例 会議 決 結果

議案番号	件 名	結 果
令和 2 年第 1 回定例会 付託議案第 28 号	名寄市債権管理条例の制定について	原案可決
議案第 1 号	名寄市職員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	名寄市税条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	名寄市都市計画税条例の一部改正について	原案可決
議案第 4 号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 5 号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 6 号	名寄市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 7 号	名寄市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 8 号	財産の取得について	原案可決
議案第 9 号	財産の取得について	原案可決
議案第 10 号	専決処分した事件の承認について（令和元年度名寄市一般会計補正予算）	承 認
議案第 11 号	専決処分した事件の承認について（令和元年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算）	承 認
議案第 12 号	専決処分した事件の承認について（令和元年度名寄市介護保険特別会計補正予算）	承 認
議案第 13 号	専決処分した事件の承認について（令和元年度名寄市立大学特別会計補正予算）	承 認
議案第 14 号	令和 2 年度名寄市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 15 号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 16 号	令和 2 年度名寄市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 17 号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第 18 号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第 19 号	名寄市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第 20 号	令和 2 年度名寄市一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議案第 21 号	名寄市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議決第 1 号	市長の専決処分事項の指定について	原案可決

第 2 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎地方創生臨時交付金の追加交付を求める意見書
- ◎雇用調整助成金のさらなる改善・拡充等を求める意見書
- ◎新型コロナウイルス感染拡大によって家賃の支払に困難を来す人々など、すべての人に安心できる住居の確保・維持を求める意見書
- ◎地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◎2020 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◎「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1 / 2 への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30 人以下学級」の実現に向けた意見書

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



命を守るために

市民ネット 山崎 真由美 議員

冬期間の交通安全対策を

問 昨年の市内人身事故発生件数は、前年より6件増の18件であった。国道40号線では視界不良による多重衝突事故も発生している。降雪量の多い本市において、冬期間の交通安全対策は不可欠である。防雪柵の設置が安全対策として有効であると考えるが、関係機関との連携による計画について伺う。

答 暴風雪による危険な状況は年に数回発生しており、市としても課題意識を持っていく。地先のご意見もいただきながら、危険個所への防雪柵設置に関する関係機関への要望について、検討を進める。

今こそ学習環境の整備を

問 コロナ禍における3密を避ける学習環境整備と、少人数学習の取り組み推進を。

答 1mを目安にできるだけ距離を離れた座席配置とし、頻繁な換気に努めている。学



多重衝突事故が発生した国道40号線

習支援員の欠員募集を継続し、物的・人的な視点から学習環境整備に努める。

問 マスク着用用の学校生活の中、夏期間の熱中症対策にも配慮した環境整備の計画は。

答 大型扇風機の配備とともに、一部残っている特別教室への網戸設置も進めていく。**他の質問** 高齢者施策の推進について、自粛期間中におけるフレイル予防について、不安に寄り添う相談対応について



財政を生かしたまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

スピード感を持った対応を

問 加藤市長は当選後、民間的発想を取り入れ、行政運営を推進していますが、3期目の折り返しを迎えて、トップセールスとしての取り組み、総合計画（第二次）の具体的な推進に向けての考え方は。

答 3期目の行政執行は総合計画の将来像の実現に向けて、事業の改善や必要な見直しを行い、行政評価では概ね8割程度がA評価である。今後重点プロジェクトの事業や地方創生の取り組みを着実に推進するため、情勢の変化に柔軟に、かつスピード感を持って対応しながら、協働のまちづくりを進めていく。

広大な敷地の有効活用は

問 王子マテリア(株)名寄工場が生産品集約に伴う市内経済への影響は。発表された停機スケジュールを踏まえ、存続が難しい場合を想定し、3つの柱で協議が進められている



広大な敷地を活用した新たな事業展開を

具体的な内容と、従業員へのサポート体制は。
答 名寄市内の経済影響は約18億円であり、名寄市への納付額では1億4千万円と推計している。3本の柱である、再生可能エネルギー施設整備、物流・防災拠点整備、IOTデータセンター整備の基本的な考え方を王子マテリアに提案しており、丁寧に議論を深めていく。退職者対応は、ハローワークとの連携も行い、相談窓口の設置場所、あり方を検討していく。

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 地域農業における本年の作付けへの影響について伺う。

答 中国人技能実習生の受け入れおよび一部農業者の取り組みによる、人材派遣会社からの労働力確保が困難となったが、上川総合振興局、北電J A、市職員による援農もあり、一部の農家で作付けを縮小したものの、大幅な変更はなく、影響は限定的と考えている。今後も秋の労働力確保に向け、J Aと連携し、情報収集に当たるとともに、農業者への情報提供に努める。

問 高齢者の生活支援などにおいて、町内会・民生委員との連携により、現況を把握しておくことが今後必要と考えるが、本市の考えを伺う。

答 介護サービス利用者は、感染予防対策を行いながら、入浴サービスを受けていたが、サービスを利用していない方



安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

新型コロナウイルスの影響とその対策等について

には、なよろ温泉サンピラーの臨時休館により、ご不便をお掛けした時期があった。介護サービスを受けていない方を含め、日常生活の状況把握は必要であり、町内会や民生委員などと連携しながら状況を把握し、高齢者福祉施策の充実に努め、安心して暮らしているまちづくりに努める。

他の質問 農畜産物の需要について、担い手の確保について、障がい者就労継続支援事業所について



安心して暮らせる、きめ細かな支援につながる対策を

問 高速通信回線の普及率と今後の整備について。

答 平成31年3月末時点で94・95%の世帯を網羅しているが、依然として郊外区域の農村部や山間部で、普及率は低くなっている。本市で工事を行う場合、膨大な予算が必要となるほか、将来の維持管理に要する負担もあることから、これまで整備は進まなかったが、国の新型コロナウイルス感染症への対応を含めた「新たな生活様式」の実践のため、情報通信基盤の整備が急務として、令和2年度第2次補正予算で予算付けがされたことを踏まえ、通信事業者とも連携を図りながら、様々な財源を活用し、光ファイバー整備率100%を目指します。

問 教育現場での有効活用

答 双方向通信を利用した在宅個別授業の可能性は。



さらなる情報化社会へ向けて

市政クラブ 今村 芳彦 議員

高速通信回線の普及

答 各家庭と学校における情報機器や回線の整備が必要であり、かつ児童生徒や教職員がオンライン授業を行うための知識の習得が必要など、課題もあるが、全市的な光回線の整備がされれば、通信環境の面では可能と考える。オンライン授業は、あくまで家庭学習の補完的なものであり、学校に集い授業を受けることが重要であると考える。

他の質問 リモートワークに向けた取り組みについて、観光振興を目的とした広域組織について



ICTの有効活用で新たな生活様式を

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



感染症では広く情報提供を

市民ネット 佐久間 誠 議員

機能分担で発熱外来設置を

問 コロナ感染症に疑問を持つ市民への分かりやすい誘導策の確立について、地域での病院の機能分担により「発熱外来」病院を指定し設置されれば、市民への案内もスムーズに行うことができ、一般の外来患者や入院患者へのリスクを少なくすることができると考えるがいかがか。

答 リスク軽減につながるが、上川北部圏域における医師、看護師、臨床検査技師など、いずれも不足しており、新たな枠組みを整えることは現実的には困難。

問 学校休業に伴う対策をオンライン授業の環境整備と家庭学習支援について「地域格差」や「所得格差」によって取り残される生徒が出ないような対策が必要。またデジタル化に伴う先生たちの研修など、支援に対する考えは。新

たな作業で事前準備に時間を要することから、手立てが急務だと思うが、対策について伺う。

答 現状、相互対話式のオンライン授業ができる体制となっていない。学校は市の回線を介してインターネットに接続しており、一度に多くの児童生徒がアクセスすると通信障害の危険性があるため、新たな光回線ルートが必要。学校がオンライン授業を行うためには、わかりやすい授業の構築、授業に使用するシステムの習得、障害発生時の対応など、専門的な研修が必要になる。有効な方法を調査・検証し、解決していきたい。

感染0に油断せず防止対策が求められる



冬季スポーツ拠点化の推進を

市政クラブ 清水 夫 議員

人工降雪機の導入について

問 スキー場の早期オープンを実現することは、合宿・大会誘致・ジュニア育成強化とスキー場の経営安定に寄与するため、人工降雪機を導入しては。

答 市は、新型コロナウイルスによる影響からの回復状況を見極めながら、試行期間から本格稼働に向け、市民を含む周辺住民の利用、インバウンド対策、さらには冬季スポーツ拠点化といった市の施策を推進するため、指定管理施設であるピヤシリススキー場の施設整備について、中長期的な検討を進める中で、人工降雪機の導入を含めた設備投資についても研究する。

問 全日本学生スキー選手権大会の誘致について

大会は同一地域で、各種目を同時開催。北海道で開催できる場所は、名寄だけであり、関係団体と連携して誘致

しては。

答 誘致活動については、大きな大会であるため、競技団体や旅館業、関係機関にも相談しなければならぬととも、ジュニアオリンピック大会の誘致活動とのバランスも図っていかねばならないので、慎重に対応していきたい。

他の質問 防災についてから「本年度の防災訓練で、なぜ夏季の避難訓練を計画しないのか」と「コロナ禍における災害時の対応について」



人工降雪機の導入を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 用地取得後の具体的な活用方法を。来庁者駐車場としての活用を想定。
答 名寄庁舎の建て替え場所を見据えた同用地取得の考え



解体作業が進む食品加工流通団地内の旧公設地方卸売市場

問 南保育所と瑞生団地の改築基本設計業務が予定されているが、建て替え場所の検討状況は。
答 南保育所は現保育所の隣地、または南広場を想定。瑞生団地は、旧西町団地跡地を候補地として住民に説明済み。
問 保育所および瑞生団地に係る今後のスケジュールは。
答 それぞれ令和3年度に実施設計を実施し、その後建設工事を進めていく。
問 旧警察署用地取得の考えは。
答 北海道に対し、施設解体後の取得を希望する旨の報告済み。

問 旧公設地方卸売市場解体後の活用は。
答 自衛隊宿舎建設用地として北海道防衛局と売却に向け協議中で、売却金額など、詳細は第4回定例会で報告する予定。
他の質問 感染症により中止とした事業の予算の組み替えについて、当初予算と予定価格の積算について

立地適正化計画に係る施設整備について



市民ネットワーク
 倉澤 宏 議員

公有財産の有効活用を

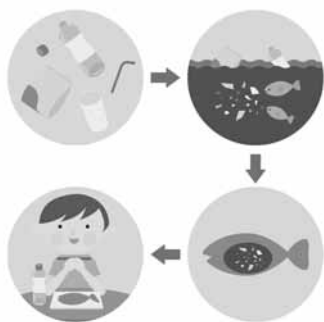
問 最終処分場の現在の状況と課題について伺う。
答 リサイクル可能なプラスチックや紙が約7割混在しており、年間搬入量も計画量を

問 海洋プラスチック問題
 海のない本市においても他人事ではない海洋プラスチック問題への認識と、プラスチックを減らす取り組みについて伺う。
答 ポイ捨てされたプラスチックごみなどが河川から海に流れ出ることにより、マイクロプラスチックを食べた魚や海鳥が死ぬなど、環境汚染が問題となつている。本市においても橋など、河川周辺でのポイ捨ては多く、地域や警察の協力も得ながら、不法投棄防止に向けた啓発などを行っている。併せてレジ袋の有料化に伴い、市としてもエコバックの利用促進に向けた啓発に取り組む。



市政クラブ
 五十嵐 千絵 議員

環境問題の認識とごみ削減



深刻な海洋プラスチック問題

超えていることから、このままの状況が続けば、およそ12年先には最終処分場の使用が完了となる見込み。次期中間処理施設の稼働は最短でも7年後となることから、一人ひとりが日常から分別に取り組み、超えていただくことが非常に重要であると考えます。
他の質問 生ごみを減らす取り組みについて、乳幼児健診の再開に当たつての対策について、市立総合病院における待ち時間の現状と対策について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



新しい生活様式

市政クラブ 塩田昌彦 議員

安全な教育環境について

問 新型コロナウイルス感染症に伴う衛生管理について。

答 新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに沿って学校教育活動を行うこととなり、具体的な取り組みとして、一つ目に①感染源を絶つ②手洗い・咳エチケット・消毒の励行③十分な睡眠・バランスの取れた食事

に心がける、二つ目に「3つの密」の徹底回避、三つ目に児童生徒への感染症対策に関する指導を行っている。また本市は、行動基準レベルが1なので、身体距離は1mを目安に確保し、マスクの着用を徹底しながら、夏期間における暑さ対策に取り組む。教室内の換気に関しては、網戸の設置や大型扇風機の配備を通して、二方向の空気の循環に努める。マスクの着用による熱中

症対策として、小まめな水分補給を行うために、水筒の携帯を6月15日から実施することとした。

問 学校給食の安定供給に向けた確保と対策について。

答 5月25日から分散登校が6月1日からは通常の登校と授業が始まり、併せて学校給食が再開となった。国から一部食料業者への支援もあり、

行政の義務である学校給食の安定供給に今後とも取り組む。**他の質問** 名寄市公共工事入札の実施に関する基本的事項の定めについて、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について

地球規模の気候変動について

問 16年に発効された「国際条約パリ協定」に基づき、世界的に気温上昇を抑えるCO2削減目標が掲げられているが、本市の地球温暖化対策の現状と課題について伺う。

答 第三次名寄市地球温暖化防止計画の取り組みにより、CO2排出量を4・2%減少した。今後も進めていく。

問 環境との共生を目指して、再生可能エネルギー導入の取り組みについて考え方を伺う。

答 王子マテリア(株)名寄工場の継続が困難な場合、跡地利用の一つである、再生可能エネルギー導入の可能性について協議し、環境負荷低減策を図る。

問 2050年CO2排出実質ゼロ表明への考え方は、現時点で行う考えはない。

答 現時点で行う考えはない。

問 2050年CO2排出実質ゼロ表明への考え方は、現時点で行う考えはない。

答 現時点で行う考えはない。



熱中症対策、水筒携帯で水分補給



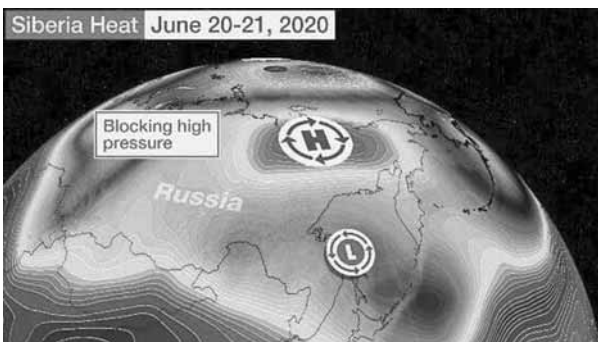
持続可能なまちづくり

市民ネット 富岡達彦 議員

宗谷本線維持存続について

問 アクションプラン1年目の成果と、コロナ禍の今後の取り組みについて伺う。

答 目標達成率90%になった。フォトコンテスト、駅カード発行を2年目も継続する。



本年6月ロシアでは38.5度を記録した

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 いつ災害が起こるか分からない季節が訪れた。避難所の感染症対策の指針が国から出され、事前準備・住民周知・

避難所の感染症対策は

答 コロナの影響は長丁場になる。さまざまなところで困っている方がいるので、一つずつ丁寧に拾い上げていく。財源としては地方創生臨時交付金が創設されており、次の段階に向け、どこが最も必要としているかを把握し、市内の経済活性化につながるような施策として打ち出したい。



小中学生のための生活支援給付を

問 飲食業界の現状をどのようにとらえているのか伺う。

飲食業界の現状をどのよう

答 事業継続支援給付金の支給状況を業種ごとに分析し、飲食業が37%と最も多いことから、厳しい経営環境に置かれている実態が把握できた。



経済対策・支援を！



暮らしを守り抜く支援を

公明 高橋伸典 議員

コロナ禍から市民を守り抜く

問 コロナ感染症の影響で、

家計が急変し困った方々がたくさんおり、特に2月28日から5月18日まで、緊急事態宣言により小中学校が休校で、生徒を持つ保護者においては、仕事も休めず非常に苦労をされた家族がいました。小中学校生の家庭への生活給付支援は。

開設時・避難後・発症時の安全対策は。

答 通常の避難対策および避難者の感染症対策として「マスク」の着用、「消毒液」「体温計」の持参や親戚・知人宅への避難などを広報7月号で周知する。避難場所の十分なスペースが確保できるよう、避難場所を増やすため、ホテル・旅館の活用も検討する。手洗い・消毒の徹底やチェックリストの活用により体調を管理し、感染予防に努める。

他の質問

基盤的防災情報流通ネットワークの構築を



コロナに対する支援について

市政クラブ 三浦勝秀 議員

飲食業に対する支援について

問 なる地域商品券の販売数、利用状況、課題などについて伺う。また消費拡大に向けた新たな支援策について伺う。

答 なる地域商品券の販売は、6月12日に1万5千セットが完売。利用状況の把握は難しいが、6月17日現在、86店舗、826万5千円の経済効果がでている。課題は商品券の取扱店の選定方法や周知方法で、選定方法については、実行委員会の構成団体に属さない店舗での利用要望があり、一定のルールを設け、取り扱い可能とした。また新たな消費喚起策を検討中。

人件費や家賃の負担が大

問 大きい大型店舗に対しての支援など、追加経済対策について。

答 国の支援制度の拡充や給付金があるほか、市としては、市内経済への影響の長期化と拡大を見込み、影響の度合いに応じたメリハリをつけた支援が必要と考える。具体的には飲食業、宿泊業、バス・タクシー業など、業種ごとの固定費に着目し、経済対策を検討する。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



コロナ禍に関連する対応

日本共産党 川村幸栄 議員

高齢者への対応について

問 施設入所・通所者等への対応と介護する職員への対応について、PCR検査の実施、マスクや消毒液の備蓄状況は、

答 基本方針等に基づき、事業所内での集団感染の防止を図っている。2月25日から7月9日まで、原則看取りの方の家族以外は、面会制限を実施。5月8日からオンライン面会を実施。職員への対応では喀痰吸引等の際は飛沫感染防止ゴーグルを着用。PCR検査は感染が疑われる事例が出た場合、保健所等の指示を受ける。

問 全国的には利用者の減少や感染対策の経費負担増で、事業継続が危ぶまれている状況もある。当市の状況は、

答 まだ十分な検証はできていないが、短期入所では前年比介護報酬15%程度の減サービス事業所には、国からも含め様々な情報を提供して

いく。

小・中学生への対応について

問 長期の休校で、かつてない学習の遅れ等が生まれている。丁寧な寄り添い、心のケアも含め手厚い教育が必要。特に小1、中1、小6、高校

答 進学を控えた中3への対応は、教職員の増、時間割編成の工夫、児童生徒の実態に応じた指導の充実を図っている。

問 市内2高校の統合が、今の中1から対象。不安が大きい。

答 道教委に学校訪問等を要望。

他の質問 非正規労働者や学生アルバイト等への支援は



どの子ども笑顔で、勉強に取り組める環境づくりを



子孫に誇れる名寄市

市民ネット 高野美枝子 議員

学びの課題解決に向けて

問 新型コロナウイルス感染症対策では、事前準備もないまま休校が始まり、自宅待機を余儀なくされた。学校は再開されたが、今後学習の遅れや不安、ストレス、不登校など、さまざまな課題が予想される。その対応について伺う。

答 学習の遅れは、児童生徒の負担に十分配慮しながら授業時間の確保に努める。ストレスや不安などに対する心のケアについては、一人ひとりの健康状況を把握するとともに、学校全体できめ細かく観察し、必要に応じて教育相談や家庭訪問を実施する。

名寄市立大学の将来像

問 大学生の学びの保障と野村新学長の方針の具現化について伺う。

答 学びについては、総じて支障はない。大学院設置については、6月中に検討グループを立ち上げ、地域のニーズ

や期待される大学院のありようについて整理を進める。

問 安心して住み続けられる名寄市、市民は不安を感じ、自信をなくしている。課題を乗り越え、未来に希望の持てる、子孫に誇れるまちづくりに対する考え方について伺う。

答 申し訳なく思っている。コロナ禍による市民生活への影響、経済的打撃と厳しい状況が続いている。名寄市総合計画の基本理念を具現化するための施策について、スピード感を持って取り組み、市民が希望を持てる生活ができるまちづくりを進める。



期待される野村新学長体制(名寄市立大学)

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 2030年冬季五輪候補地の札幌市と連携し、バイアスロン競技を本市に誘致するなどの市民共通の大きな目標を掲げてはどうか。

答 バイアスロン競技は自衛隊駐屯地があることや、産業高校に通いながら五輪出場を目指す選手がいるなど、本市



五輪競技誘致を目標に

山田 典幸 議員

スポーツ振興によるまちづくり

問 冬季スポーツ拠点化をはじめとする様々な取り組みが市民のスポーツに対する意識を高めてきているが、今後より一層の市民の気運醸成をどのように図っていくのか。

答 今年度Nスポーツコミッションにおいて、幼児から高齢者までスポーツに触れ合える事業や、スポーツフードの開発による産業間連携、スポーツ移住などの政策間連携など、様々な分野の市民・事業者・団体と関わりを持てる事業展開により、さらなる市民の意識高揚を目指していく。

と親和性が高く、また最近では札幌市の雪不足もあり、五輪が実現すれば、本市のバックアップ拠点としての位置付けが高まる。五輪競技誘致は大きな夢になり、冬季スポーツ拠点化事業の旗印にもなる。阿部雅司市特別参与の知見も借りながら、誘致の可能性を考えていきたい。

他の質問 第2次名寄市農業・農村振興計画の進捗状況について、人と農地の問題の解決に向けて



市民共通の目標で一層の気運醸成を

議会運営委員会活動報告

令和2年第2回定例会の日程、議事運営などを協議するため、4月23日から7月29日までの間、委員会を10回開催しました。

5月25日の委員会では、会期を5月28日から6月19日までの23日間とすること、一般質問は17日から19日の3日間とし、15名の議員が登壇することを確認しました。また定例会初日の上程議案は、名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてなど23件で、付託議案の名寄市債権管理条例の制定については、委員長報告を行うことを確認しました。

6月17日の委員会では、定例会最終日の上程議案は、名寄市議会委員会条例の一部改正についてなど6件で、6月4日に付託された一般会計補正予算と名寄振興公社のあり方などについては、特別委員会の委員長報告を行うことを確認しました。また市民との意見交換会の開催は、感染予防対策を行った上で、開催することを確認しました。

議会日誌 4~7月

- 4/8 議会報特別委員会
- 4/16 名寄振興公社あり方特別委員会
- 4/21 市民福祉常任委員会
- 4/23 議会運営委員会
- 4/30 各会派代表者会議
- 5/8 経済建設常任委員会
- 令和2年第1回臨時議会
- 各会派代表者会議
- 総務文教常任委員会
- 5/15 経営に係る意見交換会
- 各会派代表者

- 5/18 議会運営委員会
- 5/19 経済建設常任委員会
- 5/20 市民福祉常任委員会
- 5/21 総務文教常任委員会
- 5/22 各会派代表者会議
- 5/25 名寄振興公社あり方特別委員会
- 5/26 議会運営委員会
- 5/28 議会報特別委員会
- 令和2年第2回定例会開会
- 各会派代表者会議
- 6/2 議会運営委員会
- 議員協議会
- 各会派代表者会議
- 議員協議会

- 6/3 名寄振興公社あり方特別委員会
- 6/4 議会運営委員会
- 6/5 議員協議会
- 6/8 名寄振興公社あり方特別委員会
- 6/9 総務文教常任委員会
- 6/16 名寄振興公社あり方特別委員会
- 6/17 経済建設常任委員会
- 6/19 議会運営委員会
- 令和2年第2回定例会閉会
- 林活議連総会
- 7/8 議会運営委員会
- 7/14 議会報特別委員会
- 7/15 市民との意見交換会
- 7/22 市民との意見交換会
- 7/29 総務文教常任委員会
- 議会運営委員会

※名寄振興公社のあり方に関する特別委員会を『名寄振興公社あり方特別委』と略して表記

政務活動費の概要について報告します。

政務活動費とは

◇政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派などに対して交付されています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

令和元年度 名寄市議会各会派などの政務活動費概要報告

単位：円

区分	市政クラブ	市民ネット	公明	日本共産党	合計
当初交付額	1,100,000	660,000	110,000	110,000	1,980,000
支出	調査研究費	1,094,470	661,481		1,755,951
	研修費	51,200			51,200
	広報費				3,270
	広聴費		9,262		9,262
	要望・陳情活動費				0
	会議費				0
	資料作成費		2,057		2,057
	資料購入費	12,312			16,670
	人件費				0
	事務所費				0
支出合計	1,157,982	672,800	0	19,940	1,850,722
未執行額（返還額）	0	0	110,000	90,060	200,060
令和元年度交付額	1,100,000	660,000	0	19,940	1,779,940

※令和元年度は改選期のため、5月から11ヵ月分を交付しています。 ※交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

政務活動報告

市政クラブ

令和元年度は、道外視察を11月12日～11月16日の日程で行いました。

静岡県富士宮市では、最終処分場の延命化や処理費用の削減を目的として、市民・事業者・行政が一丸となつてごみの減量化に取り組む事業「ごみダイエットプロジェクト」の視察を行いました。本市で検討が進められている、一般廃棄物中間処理施設の整備に係る内容として、参考になりました。

静岡県御殿場市では、市民に開かれた市議会のなお一層の実現、効率的な議会運営、議会の活性化、危機管理体制の強化などを目的に、ICTの積極的な活用について学ぶため、「議会ICT推進事業」の視察を行いました。現在、本市の議会でも検討されているタブレットの導入に向けて、参考になりました。

静岡県裾野市で視察した「移住定住促進事業」は、首都圏から100km圏内で、新幹線通勤ができる「ほど良い

田舎」裾野市を全面に打ち出したPRをすることにより、定住・移住を促進する取り組みでした。本市とは地理的条件などの違いはあるものの、施策内容について参考になりました。

奈良県橿原市で視察した「こども総合センター事業」は、発達障がいなどを有するため、日常生活に課題のある子どもおよびその家族に対し、成長段階に対応する一貫した教育・福祉・医学的支援を行う取り組みでした。庁舎内の横断的な施策推進は、本市の障がいのある子ども・保護者に対する支援充実へ反映していきたいと思えます。

大阪府高槻市では「体験交流型観光プログラム」の調査研究を行いました。



大阪府高槻市にて「体験交流型プログラム」を学ぶ

政務活動
報告

市民ネット

会派議員の活動報告や市政課題についての意見交換など、広く市民の声を直接聞く機会をつくるとともに、今後の会派としての議会活動に生かしていくことを目的に、2月19日、20日の日程で駅前交流プラザ「よろーな」、ふうれん地域交流センター、市民文化センターの市内3会場において市民との意見交換会を開催し、合計33名の市民の皆様の参加をいただきました。意見交換では、名寄振興公社の不祥事に対するこれまでの対応や名寄市社会福祉協議会の不正受給問題、新年度予算に関すること、またそのほかの市政に対する課題についても様々な意見をいただき、それらに対する会派としての考え方をお話しさせていただきました。今後も多くのご意見を市政に反映するため、できるだけたくさんの皆様に参加いただけるよう工夫をしながら開催していきます。

昨年10月には石川県金沢市

の文化スポーツコミッション事業、富山県氷見市の地方創生事業、滑川市の議会改革、長野県塩尻市の図書館を含めた複合施設について各自自治体を訪問、関係者の説明を受けるとともに施設の見学を行っています。本市の総合戦略に掲げるNスポーツコミッションをはじめとする地方創生交付金事業の検証や常設委員会での課題、また名寄市議会の検討課題である、議会改革に向けた議論の参考にすることができました。さらには改築が予定される図書館整備事業においても、これからの公共施設のあり方を考える上でも、大変有意義な視察となりました。



金沢文化スポーツコミッション 平 八郎 代表の説明を受けました

政務活動
報告

日本共産党

今年度は、視察研修等は行わず、市内で発生した事象の調査を主に行いました。広報費として、日常的な議会活動の報告を「通信」として発行しました。資料購入費として、質問などの参考資料として「制度のあらまし2019・2020」を他を購入し、活用しました。



福祉の問題が大きな関心事となりました

市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴する際には、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを着用するとともに、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



名寄振興公社のあり方に関する特別委員会は、2件の付託された議案の審査を含めて、18回の委員会を開催し、一定の方向付けを行いました

民間の発想で改革進む

特別委員会では、振興公社の経営状況と検証委員会での検証結果について、都度説明を求め、議論を深めてきました。振興公社は本市の公の施設を運営している組織であるが、色々な対策の実施により、社員の意識も、その責任と自覚を持ったものに変わりつつあることと、不明金処理の対応・裁判の経過・部門別の令和元年度損益決算の報告を受け、まとめの議論を行いました。



再生に向けて着実な歩みを進める振興公社

公社あり方委員会最終

振興公社で運営されている施設は、市民と近隣住民の憩いや健康増進に不可欠な施設であり、また本市の重点プロジェクトである冬季スポーツ拠点化の核となる施設であることから「存続をさせて運営する」という共通認識のもと、方向付けを行いました。

『経営形態』では①各施設の指定管理料の見直しによる公募などの検討②新たな体制を構築するために、組織・ルール・人員体制の見直し③民間のノウハウを有する経営のトップを含めた人員の確保。『施設整備』では①スキー場と温泉・宿泊施設は、市内唯一の公共性・公益性の施設であり、安全性に配慮すること②温浴施設は、早期の改修を求める③宿泊施設は、スキー場運営と合宿との兼ね合いを

考慮して整備④第4ロマンズリフトの運行とナイター営業の検討⑤索道施設の計画的な維持補修と更新の検討。

『振興公社のあり方』では①一連の不祥事に関する会計・経営の問題点の整理と対応策②令和2年度の経営方針に基づく、中長期的な経営計画と戦略の策定③第三セクターとして運営継続を行う場合、事業内容・コスト負担の明確化④スキー場運営は長期的な視野に立ち、広域的な取り組みが求められる。

以上の確認と、スキー場を含めた関連施設は、外部専門家によるとポテンシャルが高く、足元マーケットを大切にしながら、合宿誘致などの施策展開が求められるとの確認を行い、特別委員会での協議は最終しました。



存続をさせて運営することを基本に方向付けを行った

三セクと行政の関わりは

5月15日に株マックアースの一ノ本社長を招き、名寄振興公社経営に係る意見交換会を開催しました。株マックアースは、国内においてホテル・スキー場・ゴルフ場など、リゾート施設の経営をされており、数多くの経験と専門家としての知見を基にした、名寄振興公社のスキー場およびホテル運営に対する現状の評価分析などの説明を受けた後、意見交換を行いました。

一ノ本社長は各委員の質問に対して、ピヤシリスキー場のポテンシャルの高さ、再生するための経営戦略と課題、第三セクターに対する行政の関わりなどについて話されるところにも、中長期的な視点と広域的な取り組みが重要であると強調されました。



ポテンシャルの高さを生かした経営を

総務文教常任委員会活動報告

第3回委員会を4月16日に開催し、コロナ感染症対策に関する名寄市立大学の対応状況、利用の少ない駅の存続・廃止について説明を受けた後、令和2年第1回定例会付託議案第28号「名寄市債権管理条例」の審査を行いました。

第4回委員会を5月8日に開催し、小中学校のコロナ感染症対策、名寄市立大学学生支援給付金の概要について説明を受けた後、前回に引き続き



3ヵ月ぶりに給食を楽しむ小学生

付託議案を審査し、採決を行いました。

第5回委員会を5月20日に開催し、名寄市立大学の運営、教育行政の推進、総合政策部所管事業、総務部所管事業について、それぞれ説明を受けました。

第6回委員会を6月8日に開催し、学校再開に伴うコロナ感染症対策について説明を受けました。本委員会では、「高齢化社会における公共交通の課題について」を今年度のテーマとして調査研究することとし、名寄市内における路線バスについて説明を受けました。

【付託議案】審査内容

付託議案第28号「名寄市債権管理条例」の趣旨は、市が保有する金銭の給付を目的とする債権には公債権と私債権に係るものがあり、この債権には根拠法令の異なるさまざまな債権があるとともに、担当部署で事務処理方法や徴収



学校再開後、感染予防対策を進める小・中学校

体制が異なっている現状を、全庁で適正なルールを定め、債権管理手順の統一化、基準の明確化、事務の効率化を図るためと説明を受けました。「名寄市債権別滞納及び未納状況」についても説明を受け、質疑の後、委員会討論を行い、徴収対策会議の複数回開催と本市の大きな財源である未収金は、苦勞を惜しまず徴収の履行に努めることで一致したことを受け、質疑を終結し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議員協議会

5月28日

5月28日、本会議終了後に議員協議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対応地地方創生臨時交付金、地方創生推進交付金事業の検証などについて報告を受けました。

臨時交付金は、地域の実情に応じてきめ細やかに事業を実施できるよう創設されるとともに、地方公共団体が策定する実施計画に基づいた事業に要する費用に対し交付されるもので、本市では感染症への対策はもちろん、影響のあった中小企業への融資や給付、飲食店で使用できる「なよろ地域商品券」発行による消費拡大支援、市立大学生への支援などに活用すると報告されました。

議員からは市民周知の徹底や追加支援などについて質問があり、理事者からは「今後影響をしっかりと見極めつつ支援を講じたい」との答弁がありました。

また交付金事業の検証では、Nスポーツコミッションの活動として、もち米を使った新商品「モチチート」の開発やインバウンド受入数などの説明を受けました。

市民福祉常任委員会活動報告

新型コロナウイルス感染症対策(第1)

4月21日第5回委員会では、市民部より名寄市国民健康保険・後期高齢者医療条例の一部改正について報告を受け、質疑を行いました。

健康福祉部からは介護保険条例の一部改正、補正予算案、新生児聴覚検査費用助成の開始のほか、新型コロナウイルス感染症に対する対応では、発生時の流れや特別定額給付金などの説明を受け、質疑を行いました。その後、4月1日付で健康福祉部参与として着任された守屋潔氏(地域包括ケアシステム担当)から挨拶をいただきました。

新型コロナウイルス感染症対策(第2)

5月19日第6回委員会では、市民部より国民健康保険事業・地方税法等(個人住民税・軽自動車税・固定資産税)の一部を改正する法律のほか、ゴミ出しが困難な世帯で、訪問介護などを利用して世帯に対する高齢者等ごみ出し支援事業について報告を受け、質疑を行いました。

健康福祉部からは新型コロナウイルス感染症に対する対応として、公共施設・特別定額給付金・マスクの配布・市民への感染予防対策の周知について報告を受け、質疑を行いました。また第6期名寄市



終息まで十分な対策が求められます



市民の声を反映させた計画に

断しながら、また調査研究の計画を見直しながら取り組むことを第5回委員会でも確認しました。

障がい福祉実施計画の策定、第8期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画の策定、定例会提出予定議案について報告を受け、質疑を行いました。

市立総合病院からは債権の放棄、業務体制、令和元年度決算見込み、市職員の定数条例の変更などについて報告を受け、質疑を行いました。

委員会のテーマ

委員会のテーマである「高齢化社会における健康寿命の延伸について」の今後の取り組みについては、第2回委員会では確認し、調査研究を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による各種対応により、実施ができません。今後は状況を判断しながら、また調査研究の計画を見直しながら取り組むことを第5回委員会でも確認しました。

議員協議会

6月2日

6月2日に開催された議員協議会では、(株)名寄振興公社の経営状況と今後について、令和元年度は、雪不足と新型コロナウイルス対策の休館による影響もあり、2245万円の赤字決算となったことが報告されました。今後については、44%と極めて高い水準にある原価率の低減や、人件費抑制の実現が必要不可欠である。また宿泊部門において、OTAの導入などにより売り上げ増加に資する手法を検討していくなど、経営に関する考え方が示されました。議員からは資金ショートの可能性について質問がなされ、つなぎ融資による経営の回復について説明を受けました。



経営課題などが示された

※OTAの導入：インターネットを通じた宿泊予約サイトの導入

経済建設常任委員会活動報告

本委員会では「産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて」をテーマに掲げ活動しています。所管事項においては、基幹産業である農業の振興、地元商工業をはじめとする中小企業の育成と中心市街地活性化策など、多くの課題が山積しています。地域経済の活性化はもとより、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進していくためにも、様々な地域産業の振興施策が必要不可欠であること



消費喚起対策による市内経済の活性化を

から、テーマに基づき委員会として幅広く調査・研究を行っていききたいと考えています。本年1月に名寄商工会議所と意見交換会を実施し、市内商工業の現状と課題などについて多くの意見を伺い、共通認識を図ることができました。それ以降も農業関係団体や、建設土木関係団体などの意見交換会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、実施を見送っています。今後状況を見極めながら、随時実施していききたいと考えています。開催された委員会の主な審議内容などについては、新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策関連で、市の新たな融資制度について、消費喚起策としてのプレミアム付き商品券発行事業について、名寄市事業継続支援給付金について、名寄市がんばる中小企業応援給付金について、第2次消費拡大対策支援事業について、名寄市中小企業振

興条例に基づく補助事業の拡充・緩和策について、事業内容の詳細な説明を受け、現在各事業共に実施に至っているところとあります。そのほかの所管事項については、王子マテリア(株)名寄工場に関する取り組み状況について、令和2年度における主要事業の概要について、各部署から説明を受けました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内経済が大きな影響を受けています。今後においても状況を的確に把握し、有効かつ実効性の高い経済対策を打ち出すべく、本委員会としても関係部署と連携をしながら取り組んでいきます。



跡地利活用の検討が急がれる王子マテリア(株)名寄工場

議員協議会

6月4日

6月4日に開催された議員協議会では、前段の本会議で報告のあった、名寄振興公社の経営状況について質疑を行いました。本年度、市は公社に対し、組織体制のさらなる強化、経営改善へのより積極的な取り組みを求めるとともに、財政支援についての考え方も示しています。また中長期的な考え方として、施設整備のうち温浴施設については、令和3年度夏季ローリング時期に、今後の方向性を含め、検討するとしています。議員からは、市民や地域住民の利便性向上を目指す足元マーケットが重要であり、公社と市が足並みを揃えた施策を求める発言があり、橋本副市長からは、両者が歩調を合わせて取り組み、成果を挙げると答弁がありました。

☆ き ほ う ☆



様々な個性が尊重される社会
ひむかい きょうじ
 名寄市大通北1丁目 日向 恭司

2年前に日本キリスト教団名寄教会の牧師に就任し、平日は名寄幼稚園の宗教主任として働いています。名寄教会は宗教活動はもとより、幼児教育・精神障がい者福祉・農業・平和運動など、多くの分野に深く関わりながら、名寄のまちとともに歩んできました。教会の力は弱くなっても、その精神は今も受け継いでいます。

現在、力を入れて取り組んでいることは、会堂の改修です。高齢化する社会に対応して、半地下部分に暖房設備を充実させた、バリアフリーの多目的スペースを作る準備をしています。

2年前から教会の玄関にはレインボーフラッグを設置しました。これはセクシュアルマイノリティの人たちが、安心して入れる場所であることを示すとともに、様々な個性を持つ人が、自分を大切に、安心していただける教会および社会を作っていきたいという希望の印です。



あれから25年
わだ ひでのり
 名寄市風連町北栄町 和田 英則

平成7年、私は21歳のどこにでもいる生意気な若者でした。入社と同時に、当時の風連町商工会青年部（現風連商工会青年部）に入部し、現在までに至る青年団体活動を、志を持ってスタートしました。風連商工会青年部では、45歳までの24年間在籍し、うち10年間は部長として貴重な経験をするとともに、まちづくりについて、団体と行政との関わりについて学びました。名寄青年会議所にも40歳までの1年8カ月間在籍し、新たなまちづくりについての学びを得ることもできました。8年前からは名寄商工会議所青年部（名寄 YEG）に所属し、多くの仲間と一緒に活動しています。令和2年、今は46歳の口うるさいオヤジになりました。新型コロナ関連では、仕事も団体活動も、次から次に今までに経験したことのないことが続いています。25年間の団体活動で得た知識などをフル活用して、この難局を乗り切りたいと思います。

表紙の写真は「名寄南クラブ野球少年団」です。

通称「南(みな)クラ」の愛称で呼ばれる名寄南クラブ野球少年団は、過去を遡ると昭和から続く伝統ある野球少年団です。南小学校に通う2～6年生で構成されており、あいさつや礼儀などを大切に活動しています。現在は全道大会出場を目標にし、『全員野球』を合言葉に野球を楽しんでいます。新入団員を募集しておりますので、遠慮なく見学にお越しください！



編集後記

昨年来、世論を賑わせた振興公社の案件は、今定例会で一定の方向性が見いだされました。まだまだ全てが詳らかになるまでは、時間がかかりそうです。誰にでも最初はあります。必ず失敗もします。ですが、その経験から何を学べるかができるのかは、人それぞれではないでしょうか。折れた骨は治癒の段階で太く丈夫になります。雨が降ってこそ地は固まります。世の中は失敗と成功の繰り返しで、できていくのだと思います。振興公社も然り、この失敗を立ち直るチャンスととらえ、市民生活に寄り添った運営を行うことはもちろん、トライ&エラーを恐れずに果敢にチャレンジする精神が必要です。▼いまだコロナウイルスの影響は大きく、それでも新たな生活スタイルが定着しつつあるなど、時代は常に流れていきます。AC（アフターコロナ）時代を駆け抜ける旗手として、振興公社が輝くことを願っています。

(合)

